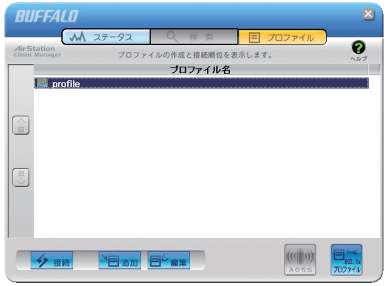
9. 以下のように設定をして[OK]をクリックします。
<プロファイル名>
任意の名称(例:profile)
<認証プロファイル>
手順6で作成したプロファイル名(例:auth_profile)

メモ 必要に応じて、[ネットワーク]、[ブラウザ]、[プリンタ]の項目についても設定をおこなってください。



10. [接続]をクリックします。



11. 手順6で選択したEAPの種類により、ユーザIDやパスワードの入力画面が表示されますので、適切な値を入力します。

以上で設定は完了です。

PY00-32033-DM11-01

「クライアントマネージャ3」を使った有線802.1X認証について

弊社製無線LAN接続ソフトウェア「クライアントマネージャ3」(Ver.1.2.6以降)は、有線LANで802.1X認証をおこなう際のサプリカントとしてもお使いいただけます。
クライアントマネージャ3を使用して有線802.1X認証をおこなう場合は、本紙の手順にしたがって設定をおこなってください。

メモ クライアントマネージャ3は、弊社ホームページ(http://buffalo.jp/download/driver/lan/clmg3.html)よりダウンロードできます。

対応機器およびファームウェアバージョン

クライアントマネージャ3の有線802.1X認証機能を利用する際の802.1X対応スイッチは、以下の弊社製スイッチ(カッコ内はファームウェアバージョン)との組み合わせである必要があります。(2006年12月現在)

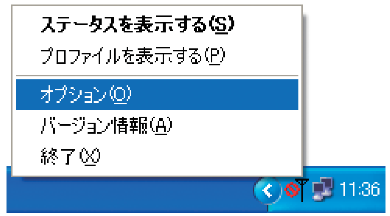
・BS-2016M※/BS-2016MR※	(Ver.1.0.5(6435)以降)
・BS-2024GM※/BS-2024GMR※	(Ver.1.0.0.39以降)
・BS-2108M※/BS-2108MR※	(Ver.1.0.8(6435)以降)
・BS-POE-2008M※/BS-POE-2008MR※	(Ver.1.0.8(6435)以降)
・BS-POE-2024GM※/BS-POE-2024GMR※	(Ver.1.0.4.95以降)
・BSL-PS-2108M/BSL-PS-2108MR	(Ver.1.0.9(6422)以降)
・BSL-SS-2008M/BSL-SS-2008MR	(Ver.1.1.7(6422)以降)
・BSL-SS-2016M/BSL-SS-2016MR	(Ver.1.0.6(6422)以降)

※BSシリーズでは、認証するポートをマネージメントVLANに所属させる必要があります。マネージメントVLANの設定方法については、本製品のマニュアルをご参照ください。

設定手順

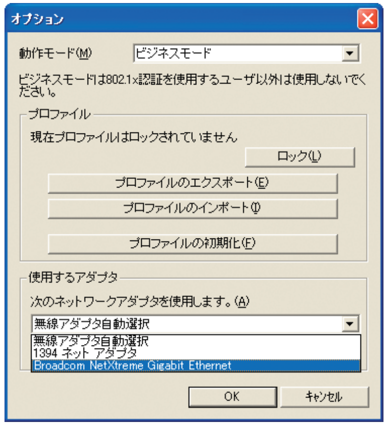
メモ 以下の設定をおこなう前に、クライアントマネージャ3(Ver.1.2.6以降)のインストールを完了させておいてください。

1. タスクトレイのクライアントマネージャ3アイコンを右クリックし、[オプション]を選択します。



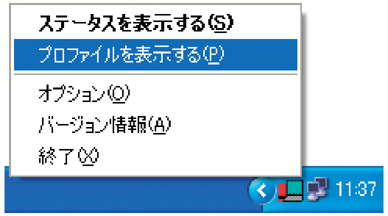
次のページへ続く

2. 動作モードに「ビジネスモード」、使用するアダプタに適切な有線ネットワークアダプタを選択して、[OK]をクリックします。



正しく設定されると、タスクトレイのクライアントマネージャ３アイコンが  に変わります。

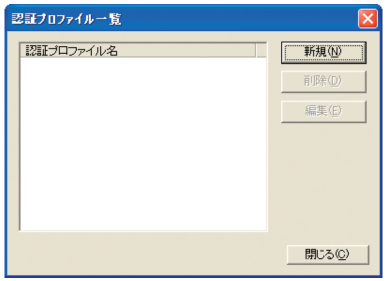
3. タスクトレイのクライアントマネージャ３アイコンを右クリックし、[プロファイルを表示する]を選択します。



4. 右下の[802.1xプロファイル]をクリックします。

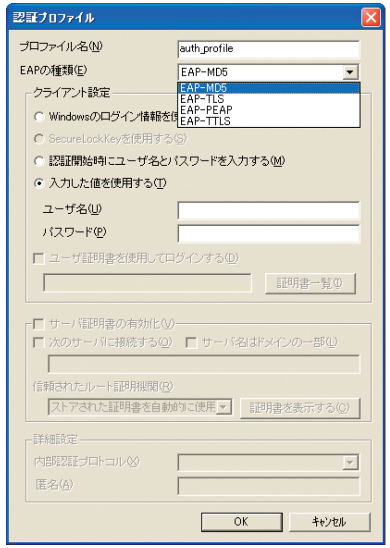


5. [新規]をクリックします。

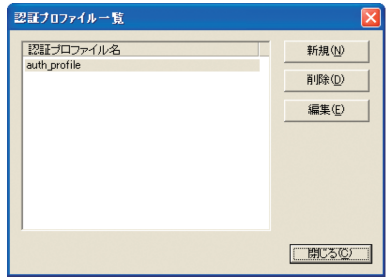


6. プロファイル名(例:auth_profile)を入力し、EAPの種類を選択します。
選択したEAPの種類に合わせて、適切なパラメータを設定します。

設定したら[OK]をクリックします。



7. 手順６で登録したプロファイル名(例:auth_profile)が表示されていることを確認し、[閉じる]をクリックします。



8. プロファイル画面に戻ったら、[追加]をクリックします。



次のページへ続く